

## 令和5年度の協議会について（案）

三郷市かわまちづくり協議会事務局

令和4年度には「三郷駅周辺江戸川河川敷の活性化方針」を策定しましたが、本方針を実現段階に移すため、引き続き協議会でのご議論をお願いします。

### 1 検討の目的とご議論の方向性の確認

(1) 河川空間を活用した賑わい創出、地域の魅力向上を目指すものです。

河川特有の制約等を踏まえ、運営手法、必要なハード・インフラ整備を一体的に検討するため、エリアを限定してご議論いただきます。

(2) 観光振興のための施策を検討するものです。

① 「観光」の一応の定義としては、“三郷市を日常生活圏としない人が、余暇等に三郷市に訪れて、三郷市で過ごしてもらうこと”とします。

② 将来的には、エリア内の以下の3つの交通拠点を結びつけること、エリア内の移動に快適性と賑わい（買い物・食べ歩きなど）を形成することを狙います。

- ・ 三郷駅（JR武蔵野線、市内バス・タクシー交通）
- ・ みさとの風ひろば（江戸川サイクリングロード）
- ・ 緊急用船着場（※舟運不存在）

※ 既存利用（スポーツ活動、散歩や広場的な河川空間利用）も尊重して利用の自由度も守ることや、短期的な投資コストや将来の維持管理コストの合理化も重要だと考えます。

(3) ターゲットの整理

① 観光振興としてのターゲット

現状の利用者は、主に「スポーツ活動」「サイクリングでの通過・休憩」「日常生活圏での散歩や広場的な利用」が多いものと推定されます。

観光振興を図るためには、既存利用者から広げるか、新しい利用ニーズを開拓するか、いずれを中心に考えるかによってターゲットを想定する必要があります。

② サービス供給維持のためのターゲット

エリアの魅力を高めるために何かしらのサービス供給を行う場合、その継続性確保のために、観光（市外からの来訪者の需要）に限らず、「三郷市を日常生活圏とする人」にも消費者として運営を支えてもらえる形が望ましいと考えられます。

観光拠点なのか、市民等が余暇を過ごす拠点なのかによりニーズが異なる場合もあると考えられますが、両者のバランスを図ることも重要だと考えられます。

## 2 委員に御議論いただきたいこと

### (1) 河川空間の賑わい創出のターゲットと施策の具体化

<例>

ターゲット	誰（どういうニーズ）に？	施策（市・協議会は）どうするのか？
	掘り下げると？	
A. サイクリスト	a. サイクリングロード通行者 b. サイクル&トレインニーズ c. ポタリングニーズ d. レンタサイクルニーズ	i : みさとの風ひろばの休憩機能を充実 ii : 河川敷（船着場周辺）に休憩拠点を形成（キッチンカーなど） iii : 市内に回遊させる仕組みを形成
B. アウトドアレジャー、キャンパー	a. ファミリー層ニーズ b. グループ利用ニーズ c. 体験ニーズ d. マニアック層ニーズ	i : 火気使用、区画、ごみ処分、駐車場と河川敷内の交通などをルール化 ii : 食材、消耗品等の販売サービス形成 iii : 器具のレンタルサービスを形成 iv : 水場、電気、Wi-Fi など
C. スカイスports	a. 趣味、練習ニーズ b. 大会ニーズ c. 資格検定場ニーズ	i : ゾーンで切り分ける ii : 曜日や時間で切り分ける
D. 公園的ニーズ	a. ピクニック、散策ニーズ b. 子どもの遊び場ニーズ	i : 水遊びができる場所 ii : 河川環境学習（生き物観察など）ができる場所 iii : 花畑（鑑賞用） iv : ボール、凧揚げなど利用ルール形成 v : ドッグランなどの利用ルール形成 vi : イベント広場的なスペースの形成 vii : BMX、スケートボードなど
E. 屋外Sports（野球、サッカー、ラグビー等）	a. 地域活動ニーズ b. 広域大会ニーズ c. 学校・企業などの利用ニーズ	i : 種目別の住み分けと競技環境整備 ii : 休憩、水分補給、食事、けがの応急処置や救命などのサービス形成
F. 水上利用ニーズ	a. カヌー協会など b. ボート乗船体験など	i : 協力団体への声かけ ii : 進水スロープ、係留施設、艇庫等

### (2) 管理・運営のあり方

#### ① 検討すべき事項

- ・ ハード面：施設の整備、維持管理、修繕 など
- ・ ソフト面：安全管理（水難、火事、衛生面など）、除草、ゴミ、予約管理など  
利用調整に関すること など

#### ② 担い手について

<例>

- ・ 市（行政）、協議会、商工会、観光協会 などが担う
- ・ マネジメント業務委託、運営権の設定 などで担う

③ リソースの拠出元について

<例>

- ・ 行政（税金）で賄う
- ・ 民間投資（事業投資、CSR、クラウドファンディング等）で賄う
- ・ 利用料収入で賄う（管理者が直接収入を得るか、管理者が運営者から利用料の一定額を徴収するかのいずれかの方法が考えられる）
- ・ 地域ボランティアなどで賄う

※ これらを組み合わせて分担の検討も必要

(3) 河川空間のオープン化について

- ① 河川空間のオープン化（営業活動を行う事業者等の河川敷地の利用。許可期間10年以内。）を目指すか
- ② 河川空間のオープン化を目指す場合に、営業活動について、市内事業者を優先するか、または市内事業者に限定するか

(4) 必要なハード・インフラ整備の具体化

(5) 上記を検討するために必要なプロセスについて

① 必要な調査や検証

<調査の例>

- ・ サイクリングロード通行者のニーズアンケート（サンプル数を増やす）
- ・ デイキャンプ、バーベキュー、スカイゾーンなどのニーズ調査
- ・ 駐車場の必要台数

<検証の例>

- ・ キッチンカーの設置による動線検証
- ・ 火気使用（食材調理あり）による近隣への臭い等の影響検証
- ・ 一般未供用の防災坂路の開放、サンケイスポーツセンター占有区域との相互通行などによる動線活用検証

② 協議会委員の増員

<例>

- ・ 埼玉県 … サイクリングロード（県道）管理者、広域連携
- ・ JR三郷駅 … 駅からの動線調整、鉄道高架周辺の利用調整

③ 部会の設置

<例>

- ・ 河川空間のオープン化に向けた管理運営体制と利用調整のあり方
- ・ 自転車利用促進
- ・ スポーツ利用環境

※ 市道5078号線の横断に関する安全対策については、令和4年度の協議会意見等を踏まえて、道路管理者（市）において、ハード対策（立体交差化、スムーズ横断歩道等）の検討と警察折衝を進めます。

# 意見票

令和4年度の議論全般について、または令和5年度の議論の方向性について

委員名 \_\_\_\_\_

	項目	意見
1		
2		
3		
4		
5		

6		
7		
8		
9		
10		

※ ご意見は、電子メールでも承ります。メールをお送りいただく際は、本文のみで結構です。

[m-kawa-machi@city.misato.lg.jp](mailto:m-kawa-machi@city.misato.lg.jp)